

## 作品キャプション

《星空ピクニック》 2015年

《UF0探しています》2014年

子供の頃、様々なレンズを組み合わせて天体望遠鏡を作った。月のクレーターが見えた時、大変興奮したのを今でも覚えている。子供でもできる簡単な方法（つまり望遠鏡）で、普段見えないものが見えるということが非常に面白く感じた。

今私は美術作家として都市空間に興味を持ち制作している。都市への新しい認識、生き生きとした都市と人との関係、楽しい街の使い方を美術的手法を使い発見、提示したいと考え活動している。

都市の中に確実に存在しているが見逃しているもの、その存在があるにもかかわらず意識しないものを見つけ出すことが制作の出発点となっている。子供頃も今もそう違うことはしていないのかもしれない。本作品では、普段私たちの真上にありながら、その存在をあまり意識しない宇宙の観察と、ピクニックという野外活動の形式を組み合わせ作品化した。

闇の中に身を置き静かに宇宙を感じる。そのための装置としてのピクニックマットを制作し、「星空ピクニック」を実行した。ピクニックという言葉は19世紀初頭からイギリスで広く使われ始めたそうである。美味しい飲み物を頂きながら、存分に宇宙を感じ、時には近くの人とおしゃべりをする。そんな気軽な宇宙との関係を提案したいと考え制作した。

ワークショップでは、虫眼鏡を使ったカメラオブスキュラを制作し身近な世界をちょっと普段とは違った方法で観察した。像は反転し、スクリーンに映され映像化した世界は新鮮に感じる。

私達は世界のことを知らないと思う。現在は科学が発達し、遠隔地の情報もタイムラグなく得ることも可能だ。だが例えば、2時間かけ手のデッサンを描く時、2時間手についての発見は続くだろう。（こんな風に指紋があるのかとか、深さの違う幾つものシワや骨や腱、筋肉の存在など。）何年も片時離れることなく存在し続ける自分の手のことでさえ私達はあまりよく知らない。

世界は謎に満ちている。それぞれの方法、それぞれの見方で世界を感じる。そんな世界との接し方も許容されて良いのではないだろうか。

## プロフィール

1974 岡山県生まれ

2002 倉敷芸術科学大学大学院修士課程修了

## 展覧会歴

2002 個展 Deleting Project (アクシスギャラリー アネックス/東京都港区六本木)

選選展 / 0ギャラリー (東京都中央区銀座)

2004 トロールの森 / 善福寺公園 (東京都杉並区)

個展 SPIRAL / appel (東京都世田谷区)

2005 個展 散歩プロジェクト-F00TSTEP- / 遊工房アートスペース (東京都杉並区)

2006 exota / KUNSTHAL ROTTERDAM(オランダ ロッテルダム)

2011 個展 Interface / Kulttuuri bingo (オウル フィンランド)

2013 VOCA / 上野の森美術館 (東京都台東区)

SNAC ZOU-NO-HANA vol.7 スナック “ピンポン” ゾウノハナ 象の鼻テラス(神奈川県横浜市)

個展 Outlaw / 遊工房アートスペース (東京都杉並区)  
代官山インスタレーション (東京都)  
オープンスタジオ / ハンマーヘッドスタジオ (神奈川県横浜市)

アーティスト イン レジデンス

2001 帆布展 / 広島県尾道市百島  
2002 ニュータウンアートタウン展 (岡山県赤磐市 山陽団地)  
2005 BankART Studio NYK (神奈川県横浜市)  
2006 Duende Studio(オランダ ロッテルダム)  
2008 Kunstlerhaus Vorwerkstift (ドイツ ハンブルク)  
2011 Tidepaussi (オウル フィンランド)  
2012 Berlin(ドイツ ベルリン)  
2014 Santa Fe art institute (アメリカ サンタフェ)  
Open-A i r Pilsen 2015 (チェコ共和国 プルゼニ市)  
2015 アーティスト イン レジデンス in 国立天文台野辺山 (国立天文台野辺山宇宙電波観測所 長野県)